

# なかつ市議会だより

令和4年  
9月議会

## 他議会からの視察研修の受け入れを行っています



茨城県神栖市議会（議会改革の取り組みについて）

中津市議会では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、他議会からの視察研修の受け入れを積極的に行っています。

令和4年度は「議会改革の取り組み」や「6次産業の認定制度」、また「中学校のブレザー型標準服（制服）の導入」などをテーマに、これまで9議会、延べ60人の視察研修の受け入れを感染対策を講じた上で行いました。



茨城県つくば市議会（6次産業商品の認定制度について）



なかつ6次産業推奨品の説明

令和4年台風14号で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

## 令和3年度 政務活動費 収支報告

政務活動費とは、「中津市議会政務活動費の交付に関する条例」並びに「中津市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則」の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派又は議員に対して交付されるものです。

### ◎交付対象・金額について

交付対象：会派又は議員  
 交付金額：議員1人あたり年24万円  
 交付時期：各年度(基準日4月1日)につき1回、年額の総額を支給  
 ＊年度末において、残余の額があった場合は返還します。

### ◎使途について

政務活動費の交付を受けた会派又は議員は、当該政務活動費を条例で定める使途基準に従って使用しなければならず、市政に関する調査研究その他の活動に資するため必要な経費以外のものに充ててはならないとされています。

### ◎政務活動費の使途基準

項目	内容
調査研究費	交付対象会派又は交付対象議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	交付対象会派又は交付対象議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	交付対象会派又は交付対象議員が行う活動、又は市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	交付対象会派又は交付対象議員が行う住民からの市政及び会派又は議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	交付対象会派又は交付対象議員が要請、又は、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	交付対象会派又は交付対象議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派又は議員としての参加に要する経費（原則、飲食は除く）
資料作成費	交付対象会派又は交付対象議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	交付対象会派又は交付対象議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	交付対象会派又は交付対象議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	交付対象会派又は交付対象議員が行う活動に必要な事務所の管理又は備品購入等に要する経費

◎執行状況の公表について

中津市議会では、政務活動費の用途について透明性を図るため、収支報告書を市議会だより、また中津市役所ホームページでも公開しています。

令和3年度における各会派の支出状況、主な政務活動費の内容は以下のとおりです。

単位(円)

会派名	実績額											交付額	返還額
	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計		
前進(5人)	37,847							3,450		5,869	47,166	1,200,000	1,152,834
ゆうき(4人)	127,836	48,540	575,215							6,583	758,174	960,000	201,826
新生・市民クラブ(4人)	25,309		284,356							185,585	495,250	960,000	464,750
清流会(4人)			97,952								97,952	960,000	862,048
日本共産党(3人)	980	60,275	341,035								402,290	720,000	317,710
創生なかつ(2人)							42,350				42,350	480,000	437,650
公明党(2人)		60,770									60,770	480,000	419,230

**【前進】古江 信一・草野 修一・高野 良信・角 祥臣・林 秀明**

**【調査研究費】**  
 令和3年7月13日～14日  
 大分県庁 障がい者雇用支援について  
 大分県庁 中津港の活用の推進について  
 令和3年11月9日  
 大分県佐伯市 クラウドファンディングを活用した中心市街地の活性化補助金  
 大分県佐伯市 佐伯市歴史資料館を核とした社会教育の推進  
 大分県佐伯市 南海・東南海地震を想定した避難施設整備

**【資料購入費】**  
 夫婦別姓「選択制だから問題ない」は本当？ 1冊  
 「人口減少」にどう立ち向かうか 1冊

**【事務所費】**  
 インク代

**【新生・市民クラブ】**  
 吉村 尚久・大塚 正俊・千木良 孝之・須賀 要子

**【調査研究費】**  
 令和3年8月2日  
 大分県佐伯市 ごみの減量、資源化の取り組みについて  
 佐伯市エコセンター番匠現地視察

**【広報費】**  
 議会報告書印刷費、紙代、封筒代

**【事務所費】**  
 コピー用紙、ノートパソコン、パソコン修理代

**【日本共産党】荒木 ひろ子・川内 八千代・三上 英範**

**【調査研究費】**  
 裁判所閲覧手数料、情報公開手数料

**【研修費】**  
 令和3年7月29日、8月10日  
 大分県大分市 全国地方議員交流研修会  
 令和4年1月21日～22日  
 市町村議会研修会参加費、テキスト代

**【広報費】**  
 議会報告書印刷費、用紙代、折込料、議会報告会会場費

**【ゆうき】藤野 英司・中西 伸之・本田 哲也・山影 智一**

**【調査研究費】**  
 令和3年11月9日～11日  
 岡山県津山市 三津同盟について  
 島根県益田市 地域の魅力を高め、UIターンを促進する施策  
 島根県津和野町 津和野町三津同盟関連施設

**【研修費】**  
 令和3年7月13日  
 大分県大分市 野生鳥獣による農林水産物被害の軽減に向けた研修会  
 令和3年11月24日～25日  
 熊本県熊本市 先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2021

**【広報費】**  
 議会報告書印刷代、用紙代、郵送代、封筒代

**【事務所費】**  
 インク代

**【創生なかつ】中村 詔治・恒賀 慎太郎**

**【資料購入費】**  
 令和4年3月15日  
 ゼンリン電子住宅地図 中津市

**【清流会】相良 卓紀・木ノ下 素信・三重野 玉江・大内 直樹**

**【広報費】**  
 議会報告書印刷費、折込料

**【公明党】松葉 民雄・小住 利子**

**【研修費】**  
 令和4年2月3日  
 動画セミナー4講座（マイナンバーと新型コロナ、アフターコロナのデジタル戦略、情報から見る自治体の仕事、デジタル改革関連法と自治体の動向）

# 代表質問

- ◆毎年9月議会において、会派の代表者が具体的政策を、主に市長及び教育長に対し質問するもので、今回が14年目になります。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



## 新生・市民クラブ

代表質問者

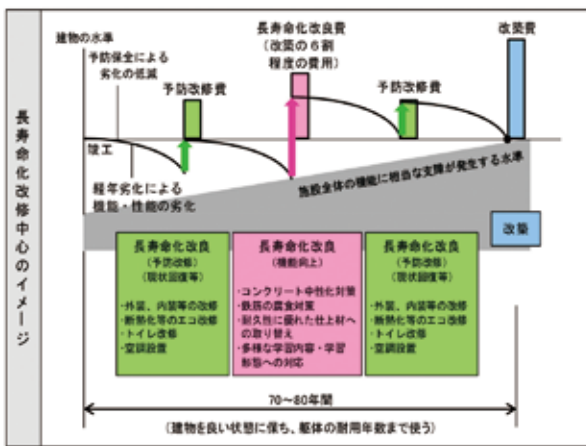
すが かなこ  
須賀 要子



### ◎学びたい教育のまちづくりに向けた学校施設整備について

**問** 学校施設については、長寿命化を図ることを基本としているとのことですが、建物の躯体部分もいつかは朽ちていくものです。そこで、建て替えの目安は最長何年としているのか。

**答** 中津市学校施設長寿命化計画は、国の「インフラ長寿命化計画」に基づく「中津市公共施設管理プラン」の学校教育施設における個別施設計画として位置づけられたもので、2020年度に作成しました。2055年度までを計画期間としており、1回目の見直しを2026年度、その後、5年ごとに見直しを行うこととしております。長寿命化計画では、予防保全の取り組みの強化と機能を向上することで目標使用年数を鉄筋コンクリート造で築80年、鉄骨造及び木造で築60年としておりますが、一律ということではなく、施設劣化状況等を考慮した上で、具体的には躯体の調査に加えて、教育環境や経済性などの観点から総合的に「長寿命化」か「建て替え」かの判別を行っていくこととなります。



出典：「中津市学校施設長寿命化計画」

### ◎移住の促進について

**問** 空き家バンク登録制度のエリア拡大などの新たな施策への取り組みは。

**答** 空き家バンク制度につきましては、現在、関係する業界団体2団体と、市内全域に空き家バンク制度を拡充し、旧下毛地域も含めて一本化することについて協議しているところです。市内全域に空き家バンク制度を一本化することで健全な空き家の利活用を促進し、移住・定住の促進や管理不全な空き家の解消に繋がることから、所有者と希望者とのマッチングが進むような仕組みについても検討して参ります。

### ◎災害に強い安全なまちづくりについて

**問** 「真に住民の命を守る」には自主防災任せではなく市がもっとイニシアチブをとって、実働的な組織づくりや意識改革を共に行うべきでは。また、現状の避難所では到底避難対象者を受け入れできないことは明白です。新たな避難所の確保や現実を受け止めた避難対応を明確に示すと共に、避難情報をすべての市民が受け取れるシステムの構築が急務では。

**答** 市職員も含めた市民の防災意識の向上を図ると共に、共助の土台となる自主防災組織の横の連携の更なる強化や、地域福祉ネットワーク協議会などの各地域の中心となる組織との協働について、これまで以上に積極的に取り組んでいきたいと考えております。また、災害時の避難行動として、安全な場所にいる場合は避難する必要はないこと、避難所だけが避難先ではなく、安全な地域に居住する親戚や知人宅への避難も検討するよう、ホームページや防災出前講座などを通じて周知しているところです。さらに、市民の皆様にも早めの避難行動をお願いするため、屋外放送による避難情報発信のほか、なかつメールや告知端末、防災FMラジオ、河川カメラの映像配信などを通じて、必要とする人に確実に届けられるよう、情報発信の多重化に努めており、今後も引き続き、情報発信の体制充実に向け取り組んで参ります。



避難所（ダイハツ九州アリーナ）の様子

### ◎新型コロナウイルスに伴う市民病院の果たすべき役割と地域医療体制の拡充について

**問** 地域医療構想を通じて、新型コロナウイルスの議論を進めることが必要だと考えますが。

**答** 地域医療構想については、従来の医療体制の構築に加え、感染症病床について議論することは必要であると考えています。今回の新型コロナウイルス対応を通じて、一般医療と感染症治療の両立の難しさを改めて痛感しました。コロナ対応以外に「救急・高度医療」も市民病院の重要な役割です。これまでの新型コロナウイルス感染症に対する診療経験を活かし、感染対策を徹底した上で感染症医療と従来の救急・高度医療を両立させるように努めて参ります。





清流会

代表質問者

みえの 三重野 たまえ 玉江



◎子育てと仕事の両立支援のさらなる拡充について

問 みんなが子育てしたくなるまちづくりに対し共働きが当たり前の今、子育ては家族以外のサポートが必須となり子育て支援の手厚い地域で暮らしたい人が多い。中津市としてどのような環境がみんなが子育てしたくなるかと考えているのか、また実際に中津市の子育て世代、若者の声を聞いての調査研究はしているのか、今後の課題は。

答 「結婚～妊娠・出産～子育てと仕事の両立」と「子どもの健やかな成長」を総合的に支援し、地域をはじめ、社会全体で、子どもと子育て世帯を温かく見守り支え合う環境が大切であると考えています。「なかつ子ども・子育て支援事業計画」の策定に先立ち、5年ごとに0歳から小学4年生のお子さんを持つ全世帯を対象に就労状況や子育て支援サービスのニーズなど幅広く実態調査を行い、計画に反映させています。今後の課題としては、子どもの意見を多く把握していきたいと考えています。

答 「結婚～妊娠・出産～子育てと仕事の両立」と「子どもの健やかな成長」を総合的に支援し、地域をはじめ、社会全体で、子どもと子育て世帯を温かく見守り支え合う環境が大切であると考えています。「なかつ子ども・子育て支援事業計画」の策定に先立ち、5年ごとに0歳から小学4年生のお子さんを持つ全世帯を対象に就労状況や子育て支援サービスのニーズなど幅広く実態調査を行い、計画に反映させています。今後の課題としては、子どもの意見を多く把握していきたいと考えています。



働く女性たち

◎若者の声を反映する市政について

問 若者が未来を描くために必要な社会環境が整っているまちとあるが、実際は10代後半から20代の若者は転出し、特に女性に関しては20代から40代までが少ないとなっている。その上で達成できていると感じているか、中津市にどのような環境が求められていると考えているのか。

答 10代後半～20代の人口転出超過は、進学・就職を要因としたものと考えられます。しかしながら、20代後半～30代の人口は、転入超過となっており、減少を取り戻している特徴があります。一方で若年女性の減少が課題となっていることも事実です。これは、博多など、若者にとって魅力、吸引力がある都市が比較的近距离にあり、転居等のハードルが低いことや、産業の面では中津市は製造業を中心とした産業構造になっていることが主な要因と考えられます。

このような女性人口の流出を最小限に抑えつつ、また新たに呼び込むために、女性が働きやすく活躍できる環境とともに、余暇を楽しめる環境が求められていると考えています。

◎減りゆく産科医、産院への支援について

問 産婦人科医が適正に配置され、質の高い医療を安全に提供できる持続可能な体制を作るためには、専門医制度や医師の使命感だけでは限界がある。市民が必要な医療にいつでもアクセスでき、また次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会を実現するために、医師会や関係医療機関、行政等で協議し、産科医療機関の連携の構築などに取り組むとともに、産科医・産院確保のための施策を講じていく必要性について考えは。

答 地域差はありますが全国的に不足していると言われています。そうした中、大分県と大分大学医学部では、毎年の入学定員100名のうち、地元出身者の採用枠として23名の地域枠を設け、将来、県内で働く医師の確保に取り組んでいます。

中津市は、中津市民病院の産婦人科医確保のため大分県、大分大学との間に協定を締結し、現在、大分大学から5名の産婦人科医の派遣を受けています。また、藤吉産婦人科では、数名の医師が診療を行っている状況です。当面は県との歩みを一にしながら地域医療の確保に努める考えです。

◎中津日田道路を活かした地域振興について

問 中津日田道路の建設は大分県が行なっているが、この中津日田道路を活用し、地域の資源を活かし生活・産業・観光の諸問題を解決するのは、中津市が行わなければならないと考えられる。地域への愛着や人口減少・過疎化の進行に歯止めがかかることが期待されるとあるが、中津日田道路ができただけでは、実現は難しい。中津市として何をすべきか、具体的な考えは。

答 三光本耶馬溪道路のうち田口ICから青の洞門・羅漢寺IC間が令和5年度に開通予定となっており、全線開通に向け大きく前進しています。このICの開通により通勤・通学、買い物や娯楽のための移動時間が大幅に短縮され、またアクセス向上をPRすることで、広範な耶馬溪地域への観光客増が期待されます。こうした契機を地域の人々が地域活性化やビジネスチャンスとして捉え、活用しようとするのが何より大切だと考えます。市においても、IC開通を見据え「道の駅耶馬トピア」の大規模なりニューアル事業、青の洞門対岸での公共駐車場整備事業に取り組んでいます。



三光本耶馬溪道路 青の洞門・羅漢寺IC 付近



## 日本共産党

代表質問者

三上 英範



### ◎憲法を守り、平和な日本を

**問** ロシアのウクライナ侵略をふまえ、市長は、国に核兵器禁止条例への加盟と締約国会議への参加を求める表明をすべきと考えますが、如何ですか。

**答** 国際社会の核軍縮・不拡散に向けた認識や機運が高まることは望ましいと考え、核兵器保有国も巻き込む形で核軍縮が進み、最終的に核兵器も戦争も存在しない平和な世界を願っています。核兵器禁止条約の批准は、国の専管事項であると考えております。

**問** 岸田首相は凶弾に倒れた「安倍元首相の意志を継いで憲法9条をかえる。」としていますが、私たちが、受け継ぐべきは戦没者慰霊施設の「二度と戦争はしない」という思いを受け継ぐ憲法9条ではないでしょうか。市長の見解を伺います。

**答** 日本国憲法は我が国の最高法規でありまして、地方公共団体もこれを尊重し、擁護していく立場です。憲法第9条にうたう平和主義の精神につきましても、同じように市として尊重・擁護されなければならないものであると考えています。

**問** 国民の多くの反対があり、憲法とも相いれない安倍元首相の「国葬」についての見解を求め、国や県から求められても、市民に弔意強制をしたり、半旗掲揚を求めることはしないと明言すべきではないか。

**答** 国葬は、国において決定されるもので、弔意強制、半旗掲揚は求めることは、いたしません。

**問** 大きな政治社会問題の旧統一協会の問題について、市として、旧統一協会との関りの有無を調査し、その実態を市民に明らかにし、一切関係を持たないと表明すべきと考えますが、如何ですか。

**答** 特定の団体との関わりについては、可能な限り調査し、適切に対処していきたいと考えています。

### ◎コロナ禍の下で苦しむ市民への支援策は

**問** 市の独自策として、国の助成制度を利用して、コロナ禍で苦しんでいる市民に一律1万円の支給の実施をすべきではないか。

**答** 各方面から物価高騰等に直面する市民への支援に取り組んでいるところです。今後も、国や県の施策とも調整を図りながら、真に支援を必要としている方に対して、支援を行っていきます。

**問** 国保税の均等割の一部免除は実現しましたが、とにかく高いので、払いたくても払うことができないという声を聞きます。国の支援拡充も求めて、国保税、介護保険料の引き下げを検討すべきではないか。

**答** 全国市長会で、保険制度の持続的かつ安定的な運営のため、国に対し積極的な財政措置と低所得者に対する負担軽減策を拡充・強化するよう提言を取りまとめ、政府に提出しています。

**問** 全国的にも学校給食の無償化が広がっており、中津市でも子育て世代応援のため、実施すべきだと考えるが、いかがか。

**答** 給食費を無償化するにおいては、法の趣旨に沿ったうえで、今後も市政全般を見据えた適正な判断が求められると考えます。

**問** 若い人たちが住み続けられる中津にするためにも、子どもの医療費完全無料化と高校生まで延長を、検討すべきではないか。

**答** 子どもの医療費につきましては、令和元年7月から小中学生の通院費の医療費助成を始めたところであります。引き続き現在の制度をしっかりと進めて参ります。

**問** 農業に対する支援策として基幹作物の稲作の継続のために、①10aあたり15,000円のかつての戸別所得補償政策の復活と②水路の維持管理は、全て農家の自己責任ではなく、公共物としても位置づけ、公的な支援を拡充してその機能を維持できる様にすべきではないか。

**答** 現在、国は農業経営の安定に向け、地域の特性を活かした産地づくりを推進するための「経営所得安定対策事業」を充実させ、産地交付金の対象を拡大しており、市としても、既に「水田収益力強化ビジョン」を策定し取り組みを行っています。農業用水路の維持管理は、農業者の高齢化や少子化が進むなか、厳しくなっているのが現状だと認識しております。そこで、まずは、国の支援制度を積極的に活用し、今後は現状を踏まえ地域にあった取り組みを考え、土砂撤去や樹木の伐採など人力ではできないような維持管理等については、地元関係者や水利関係者と協議を行い、必要な支援をしていきたいと考えております。



明治44年にできた中山間地域の水路  
岩が崩れ落ち、重機が入らず、使用不可に。

### ◎ごみ袋有料化しなくても減量目標達成は可能

**問** ごみ袋の有料化と持込料の値上げをしなくても、中津市ではごみ減量目標は達成できる可能性があり、値上げ一辺倒ではなく、市民の「ごみを減らしたい。」という思いに依拠して有料化の撤回又は延期すべきでは。

中津市民1人1日当たりの5年間の減量目標 173g	
令和3年度	令和4年～7年度
(538g)	(435g)
1年間で減らした量70g	今後4年間で減らす目標 103g

説明)市民は5年間の目標の40%強を、1年間で減らしました。  
有料化しなくても、4年間で減量目標達成の可能性は大きいです。

三上作成資料

**答** 「ごみ袋有料化制度」や「資源プラの分別収集」などの施策の一体的な実施を着実に進める必要があることから、ごみ袋有料化制度を9月1日からスタートしました。また、ごみ減量の目標値はあくまでも当面のもので、達成されれば取り組みが終わるというものではありません。

# 9月議会 一般質問

- ◆令和4年9月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(オレンジ色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



つね が しん た ろ う  
**恒賀 慎太郎**  
(創生なかつ)



- ・コミュニティバス運行事業の改善策は
- ・永添新工業用地進入路の市道側通学路安全対策は
- ・理系に繋がる学習は

**問** コミュニティバス運行条件と利用者の利用条件が異なる為、空運転の時間帯が多い。改善策は。

**答** 市では、令和4年度中に中津市地域公共交通計画を策定するため、住民アンケートや事業者ヒアリング、各種調査を行いました。この調査事業の結果を基に計画を策定し、中津市の実情に合わせた公共交通を構築していきます。

**問** 永添新工業用地進入路が永添サッカー場東側市道で開始されているが、通学路安全対策は。

**答** 交差点部の横断歩道の設置については、その必要性や現状の交差点部の改良の見込み等、歩行者の安全性を最優先に、交差点の形状を含め中津警察署と協議を行っているところです。

**問** 小学校高学年からの理系に繋がる学習は。

**答** 客観的根拠に基づいて分析し、論理的に考える力を育てることが大切です。デジタル分野ではICT活用を組織的に推進し、脱炭素分野では環境教育などを通して学習しています。



よし むら なお ひさ  
**吉村 尚久**  
(新生・市民クラブ)



- ・誰もが住み続けられ、移住者に選ばれる中津をめざして
- ・障がいのある人もない人も誰もが参加でき、楽しめるイベントづくりのために

**問** 中津南高耶馬溪校の魅力化を図るために水上スキー部や公設型の学習塾の設置をしてはどうか。

**答** 耶馬溪校が主催する「地域連携推進協議会(教職員、地域の団体や住民、行政で構成)」において、ご提案の件を含め様々な課題について協議していきます。

**問** 児童生徒数の減少の中、統廃合を含めて、今後の学校のあり方についてどう考えているか。

**答** 統廃合については、子どもを主人公にして、保護者とともに地域住民の十分な理解と協力を得ることが大切で、外部有識者等からなる検討委員会の設置を視野に、まずは内部で検討を深めていきたいと考えています。

**問** 誰もが参加できるイベントにするために、障がい当事者や障がいの特性に理解ある人に企画の段階から参加してもらうことはできないか。

**答** 関係機関と協力し、障がいのある方が参加しやすい環境づくりを積極的に進めます。



かわ うち やちよ  
**川内 八千代**  
(日本共産党)



- ・市民生活を守る物価高騰対策ごみ袋有料化停止か値下げを学校給食費無償化を給付金を必要な市民に配布を
- ・使い込み事件とその責任は

**問** 電気代ガソリン代など2万品で物価が高騰の今、ごみ袋有料化停止か、宇佐市の様に値下げすべき。

**答** 脱炭素社会に向けて、ごみ袋有料化等の施策を一体的に取組み、ごみ減量・資源化を推進します。

**問** 学校給食費の現状と無償化を(宇佐市、豊後高田市は無償)。無償化に必要な経費はいくらか。

**答** 物価高騰対策及び要保護世帯等への措置は行っています。無償化の場合、新たに約3億円必要です。

**問** 必要な市民に給付金か商品券配布を(豊後高田市、日田市で実施している)。

**答** 国や県の施策を踏まえ、必要な支援を行って参ります。

**問** 山口県A町で誤送金4千万円超は全額回収したが町長は報酬辞退など責任をとった。中津市長は1,300万円の使い込みの責任はとるのか。

**答** 管理監督責任は教育委員会にあり、関係職員の処分等は既に行っています。賠償補填は元市職員がすべきです。



ち き ら たか ゆき  
**千木良 孝之**  
(新生・市民クラブ)



- ・新型コロナ感染症について
- ・防災について
- ・情報発信防災FMラジオの配布
- ・中学校のスポーツ振興について
- ・駅前輪場について

**問** 水害時、北部・南部・豊田校区の公民館は避難所として開設しません。\*MCA無線も聞こえない所もあります。少しでも早い行動が出来るよう防災FMラジオの配布を検討しては。

**答** 旧中津地域の情報発信は、MCA無線と高齢者世帯等へ防災FMラジオを配布。また、防災ポータルサイトやなかつメールの配信など情報伝達の重層化に取り組んでいますがMCA無線不感世帯への防災ラジオの配布も検討します。

**問** 今後中学校の休日の部活動が令和7年度末までに段階的に地域移行となりますが、中津市の推進状況は。

**答** 人材の確保、受け皿団体の整備、費用負担のあり方、ガイドラインの作成など様々な課題があります。国の動きを注視しつつ、課題整理と先進地の取り組みなど情報収集に努めている状況です。市の実態にあった部活動地域移行となるよう丁寧に取り組みを進めたいと考えています。

## 語句の説明

\* MCA無線とは、広域エリアでの通信を目的とした業務用無線のこと。災害時にも安定した通信を確保できるため、防災行政無線として広く使用されており、旧中津地域における屋外放送にも用いられています。



さがら たかのり  
**相良 卓紀**  
(清流会)



- ・中津市の農業の将来像について
- ・不滅の福澤プロジェクトについて
- ・恒久平和への取組みについて
- ・副市長2人制について

**問** 人口減少、高齢化による後継者不足に対し中津市の農業の将来とその対策をどう考えているか。

**答** 農業従事者が減少する中で農業公社やまくにでの研修受け入れや企業参入の受け入れも積極的に取り組んでおり、今後は機械の大型化、自動化に向けたほ場の再整備を進める必要があると考えます。

**問** 福沢通りに市民や企業等からの寄附により福澤先生の名言格言碑を並べて設置してはどうか。

**答** ソフト面を中心に事業展開をする予定ですが、プロジェクト推進委員会の構成団体や様々な方からの要望・提案を参考に今後検討していきます。

**問** 八面山には「恒久平和の火」が灯る平和公園があり、地元の小学生は毎年この平和公園で平和について勉強している。恒久平和の尊さを中津市から世界へ向けて発信することを考えないか。

**答** 平和の大切さを戦争を知らない世代に引き継ぐため、今後もこれまでの平和に対する取組みを継続し、平和への願いを発信したいと思います。



おすみ としこ  
**小住 利子**  
(公明党)



- ・誰一人取り残さない災害に強いまちづくり
- ・わがまちの健康づくり
- ・外国人材の受け入れと共生について

**問** 災害の種類により変わる避難所の周知徹底は。

**答** 今年度より、洪水被害が予測される場合の旧市内の低地における避難所については、公民館ではなく各小学校の上層階を活用することにしました。発災時にどこの避難所に行けばよいか迷う方には、市報などによる事前の広報や避難先を事前に確認できるマイタイムラインの作成を進めます。更に、どこの避難所が開設されているかを確認できるよう、なかつメールや防災FMラジオの更なる普及促進を図ります。

**問** 外国人の相談・支援窓口設置の考えは。

**答** 経済がグローバル化し国際化が進む中で、多くの外国人が中津市に居住しており、さらに増加することが見込まれます。既に質問を受けていまして、関係部署で調査検討を進めており、外国人との共生社会の実現に向けては今後、外国人にとっても中津市民にとっても暮らしやすいまちになるよう、相談窓口の設置を進めて参ります。



きのした もとのぶ  
**木ノ下 素信**  
(清流会)



- ・もう待てない移動支援の仕組みの構築を
- ・防災との共助
- ・農業支援

**問** 令和4年6月議会で議員間の自由討議を経て、「地域における移動手段の確保を求める決議」を決議したが、その後の具体的な取り組みについて。

**答** 決議の中にもありましたように、縦割りを越え、地域の移動に関する様々な需要や課題を同一の俎上に載せ、関係するすべての課が共通認識をもって議論をしていくことで、中津市の実情に沿った移動に関する施策が実現できるよう、今後も関係各課で協議を続けます。

**問** 防災士に期待する役割は。

**答** 自主防災組織における各種訓練の企画や防災研修会等への参加、\*マイタイムラインの作成支援など、住民の避難行動の意識を高める活動を、無理のない範囲で実施していただけたらと考えています。



おおうち なおき  
**大内 直樹**  
(清流会)



- ・金融教育、消費者教育について
- ・物価高騰対策について
- ・消防団員確保に向けた取り組みについて

**問** 小中学校での金融教育は、お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会を深く考え、生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的な行動を促す教育であり、充実させていく必要があると思うが、いかがか。

**答** 昨年、本耶馬溪中学校で大分銀行による「中学生向け\*金融リテラシー教室」出前授業を全学年で実施しました。出前授業も活用し、今後も金融教育の充実を図っていききたいと考えています。

**問** 消費生活と経済社会との関わりが、グローバル化、高度情報化の進展等により多様化・複雑化し、地域・家族のつながりが弱まるなか、消費者被害も多様化・深刻化しています。小中学校での消費者教育の在り方はどのようになっているのか。

**答** 出前授業などを活用しつつ、消費生活センターや学校等と協力し、消費者教育の推進を図っていききたいと考えています。

語句の説明

\*マイタイムラインとは、風水害等に備えて、住民一人ひとりが作成する、自分自身の行動計画表のこと。  
\*金融リテラシーとは、金融や経済に関する正しい知識の理解や適切な判断をするための能力のこと。





まつば たみお  
**松葉 民雄**  
(公明党)



- ・認知症対策について
- ・マイナンバー制度について
- ・災害対策について
- ・アクアパーク活用について
- ・過疎地域対策について

**問** 市内の認知症者数と今後の発病見込み数は。

**答** 令和2年における県内の認知症高齢者割合は18%と推計され、この割合を本市の推計に採用した場合、令和3年度末時点で中津市における認知症高齢者は約4,600人と推定されます。また、団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年には、高齢者の5人に1人が認知症高齢者になると推計されており、今後も増加すると考えられます。

**問** 中津市の認知症対策について伺います。

**答** 成年後見制度の普及促進のため、令和3年度に「中津市成年後見支援センター」を設立し、制度の広報、相談、後見人支援等、利用促進や普及活動を行っております。また、申立人がいないケースや、申立て経費、後見人への報酬の負担等から制度利用をためらうケースに対する支援、助成等を行っています。社会福祉協議会に「法人後見事業」を委託し、その担い手となる人材の育成として、市民後見人の養成に取り組んでいます。



ほんだ てつや  
**本田 哲也**  
(ゆうぎ)



- ・不滅の福澤プロジェクトへ提案
- ・八面山を核とした観光振興
- ・田尻地区の環境（砂粉じん・渋滞・騒音）対策
- ・水産資源回復の取り組み

**問** 福澤先生を呼び捨てにしない敬称のルール化を。

**答** 中津市では「先生」といえば、福澤先生のことと自然に根付くよう取り組みます。

**問** 原付バイクに先生のご当地ナンバーの検討は。

**答** ロゴマークも決定したので福澤先生をPRする方法として検討します。

**問** 八面山荘など各施設への案内看板が必要では。

**答** 見やすさ、設置場所等を検討し改善します。

**問** 市有地と周辺をキャンプ場としての活用は。

**答** キャンプ場に特定せず、官民対話、ワークショップ等で活用策を検討しているところです。

**問** 砂粉じんの道路への散乱に関する認識と対策は。

**答** 県に対して、スプリンクラーやトラックの足洗い場などの設置を要望したいと考えます。

**問** 期待される中津港臨港道路1号線の進捗は。

**答** 県の計画では、令和9年度までと伺っています。

**問** 干潟保全稚魚を育てるアマモ場、覆砂の検討は。

**答** 県とも連携し干潟漁業再生施策に取り組めます。



ふじの えいじ  
**藤野 英司**  
(ゆうぎ)



- ・県道万田四日市線の安全対策
- ・市道福島北原線の整備
- ・オリンピックデーランの今後
- ・ダイハツ九州スタジアムのナイター照明と外野スタンド

**問** 福島地区中津脳神経外科入口交差点の信号機の設置の進捗状況と今後の計画について。

**答** 整備条件が整ったので今年度中に公安委員会が設置する予定です。

**問** 荒瀬水路際のガードレールと一部S字カーブで幅員が狭く車の離合が困難な個所の安全対策は。

**答** 今後地元役員等と協議し安全対策を検討します。

**問** 令和5年度以降も子ども達の元気づくり未来づくりの為にオリンピックデーランの継続を強く求める。

**答** 令和5年度以降につきましては今年度の参加人数や市民の声など開催状況を検証し改めて協議をしていきます。

**問** 熱中症対策としてのナイター照明の考え方。プレーに支障をきたす外野後方の風景が見えない様にする為にスタンドを設置するべきと思うが。

**答** 引き続き利用状況や利用者の声、競技団体の動向などの調査を行って参ります。



はやし ひであき  
**林 秀明**  
(前 進)



- ・がん等の患者さんの支援事業
- ・歩行者優先のやさしいまち
- ・デジタル地域通貨への挑戦
- ・新標準服で楽しい中学校生活
- ・少子化の真因は婚姻の激減

**問** 若年者在宅ターミナルケア事業で早期支援を。

**答** 今後、検診の受診勧奨とともに、国・県の動向や他市の状況等を参考にターミナルケア事業の実態や支援の必要性について調査を行います。

**問** 横断歩道で手を上げ車等が止まる施策について。

**答** ご提案の中津署との合同キャッチフレーズ作成や公用車のマグネット貼付の広報を実施します。

**問** 地域経済の活性化や地域コミュニティのベースになる、商工会議所等と連携して導入の検討を。

**答** 消費喚起につながるが、まずは商工団体等を通じて市内事業者の認識や意向の把握に努めます。

**問** 新制服を契機に校則の見直しをすべき。また、生徒が創る新制服ファッションショーの考えは。

**答** 決め事は社会情勢や生徒・保護者の意見を大切にしたい見直しを毎年指導し、新しい制服周知は中学生をモデルにした市報掲載等を考えています。

**問** 市の若者出会い創出の場事業が物足りないが。

**答** ニーズを把握し県や企業と連携を強化します。

## 新型コロナウイルス感染予防に 引き続き取り組みましょう！

これから年末年始に向けて、人の移動や会食の機会等、増えることが見込まれます。手指消毒、うがい、マスクの着用、換気など、ひとりひとりができる感染予防を引き続き行いましょう！



### ★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。  
ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

[中津市議会HP](#)

[中津市 議会中継](#) よりご覧ください。



生中継中は **LIVE** アイコンが点滅します

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

### 令和4年12月議会の予定

11月	28日(月)	本会議「開会・会期・議案上程」
12月	5日(月)	本会議「一般質問」(4日間)
	6日(火)	
	7日(水)	
	8日(木)	
	13日(火)	本会議「議案質疑」
	14日(水)	厚生環境委員会
	15日(木)	常任委員会 総務企画消防委員会
	16日(金)	教育産業建設委員会
	21日(水)	本会議「自由討議」
	23日(金)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」



草野 修一  
(前進)



- ・やまくに地域存続のシナリオ
  - 1.中津日田高規格道路の開通見通しについて
  - 2.やまくにの人口について
  - 3.やまくに観光振興について

**問** 山国川源流アメニティリバーパーク構想を基本にして猿飛・魔林峡周辺を中心に再整備計画策定の考えはないか。整備計画策定について専任の職員を配置する考えはないか。

**答** アメニティリバーパーク構想をすべて実現するのは難しいため、計画的に猿飛周辺の整備を進めてきました。人道吊橋や遊歩道の計画的な維持、補修や平成18年に策定した「山国川源流整備構想」において課題として指摘された駐車場の不足に対応するため、新たな駐車場の整備も行っています。今後も猿飛千壺峡周辺に限定し、スケジュール感をもって整備を進めていきたいと考えています。

専任職員については、市の観光施策にかかわる事業ですので本庁と支所協働で進めていきます。



荒木 ひろ子  
(日本共産党)



- ・今こそ市民のいのちと生業を守る市政の実現を
- ・交通移動支援
- ・子育て応援の市政の実現
- ・公教育のあり方

**問** コロナ禍、急激な物価高騰で市民は大変な生活を強いられています。更に多くの市民に支援の手が届くよう、お買物券の配布や支援金給付を求めます。

**答** 物価高騰の影響を受ける市民への支援については、国や県の施策を踏まえた上で、困っている市民へ必要な支援を行って参ります。

**問** 夏休み前に小学校から安倍元首相を礼賛した「こども新聞」が配られました。児童が持ち帰った新聞を見た保護者の方から、この内容は教育委員会の方針に沿ったものかと聞かれました。旧統一協会等の巧妙な児童等への接近を防ぐ慎重な姿勢を求めます。

**答** 教育基本法に基づき、学校においては、政治的中立性を確保するため、一党一派の政治的な主義・主張が持ち込まれたりすることは厳に避けなければなりません。今回は、一般紙であり、児童への配布は校長の判断としました。

## 9月議会で決まった内容

令和4年9月議会は、8月31日から9月28日までの29日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案8件、条例関係議案3件、その他の議案1件、合計12件を可決し、意見書2件を否決しました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。)なお、決算議案12件は閉会中の継続審査としました。

### 補正予算

- ◆令和4年度中津市一般会計補正予算(第3号)  
\*物価高騰対策として、畜産経営農家に対する飼料価格上昇分の支援や保育施設など福祉施設に対する電気代高騰分の支援の他、子育て世帯等への福祉支援、マイナンバーカード普及促進、7月豪雨に係る災害復旧事業などの経費
- ◆令和4年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和4年度中津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和4年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和4年度中津市小規模集合排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和4年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和4年度中津市病院事業会計補正予算(第1号)
- ◆令和4年度中津市下水道事業会計補正予算(第1号)

### 意見書

- ◆安倍晋三元首相の国葬に反対し、弔意の強制を行わないことを求める意見書
- ◆子どもたちに豊かな学びを保障し、地域に根ざした学校教育が守られるための環境づくりを求める意見書

以上2件の意見書は否決しました。

### 条例

- ◆中津市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市手数料条例の一部改正について  
\*多機能端末機(コンビニ等)による各種証明書の交付に係る手数料の額を引き下げ、及び長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正に伴い新たに手数料を設けるための条例改正
- ◆耶馬溪風物館設置条例の一部改正について  
\*耶馬溪風物館に、日本遺産のガイダンス機能を付加し、その利活用を促進するための条例改正

### その他

- ◆財産の取得について  
\*高規格救急車の取得について議決を求めるもの

### 報告

- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の報告について
- ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の報告について
- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)  
\*道路(市道)管理者としての和解及び損害賠償額の決定
- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)  
\*施設管理者としての和解及び損害賠償額の決定
- ◆債権放棄の報告について  
\*令和3年度に実施した債権放棄について中津市債権管理規則第23条第2項の規定により報告するもの

◆賛否の分かれた議案

[議第73号]中津市手数料条例の一部改正について

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前進					ゆうき			新生・市民クラブ			清流会			日本共産党		創生なかつ		公明党					
		古江	草野	角祥	高野	林秀	藤野	中西	本田	山影	吉村	大塚	千木	須賀	相良	木下	三重	大内	荒木	川内	三上	中村	恒賀	松葉	小住
議第73号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

※上記以外の議案(議員提出議案を除く)については、全会一致で**原案可決**となりました。  
 なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。

自由討議

◆更なるごみ減量化に向けて

- ①ごみ袋有料化による新たな問題点や課題
- ②更なるごみ減量化に向けて、行政や市民がなすべきこと
- ③高齢者、障がい者等のごみ出し、分別の困りごとの解消に向けて



(補足説明者:吉村尚久議員)

◆過疎化の中で住んで良かった下毛地域にするには

- ①参考になる他市の事例はないか
- ②地域のリーダー育成が必要ではないか
- ③過疎対策の妙案はないか
- ④観光振興による活性化
- ⑤農林業の振興



(補足説明者:中村詔治議員)

以上の2件について自由討議を行いました。

決算審査

令和4年10月3日・4日・5日・7日、令和3年度中に執行した事業等の決算審査を行いました。



10月3日(月)総務企画消防委員会



10月4日(火)教育産業建設委員会



10月5日(水)・7日(金)厚生環境委員会